

KCNといっしょに応援！

ラグビーチーム 花園近鉄ライナーズ

KCNはラグビーチーム「花園近鉄ライナーズ」(花園L)を熱く熱く応援しています。



SPECIAL CROSS TALK

いてまえ！花園近鉄ライナーズ キャストが熱弁！！

番組への

花園Love(愛)とPassion(情熱)！

今季も大好評を博した「いてまえ！花園近鉄ライナーズ」の出演者が、収録終わりにアフタートーク。番組の開始当時の思い出から、チームと番組への情熱までを語り尽くします。

ラグビーを知らない人の視線を大事にしたかった

坪井 番組が始まって3シーズン目が終わったんですが、もともとはKCNの情報番組で10分ほどライナーズのダイジェストコーナーを担当させてもらったのがきっかけなんです。そこで視聴者から「ラグビー専門番組を作ってほしい」「ライナーズの番組が見たい」という声が想像以上に多かった。“これは形にしたい”という思いが強くなって、会社にプレゼンして承認をもらい、チームにも説明したら“ぜひお願いします”と。ファンの熱量が番組の原点ですね。



新聞 私はオーディション組。ラグビー経験者が対象だったみたいなんですけど、たまたまKCNで一度一緒した縁で呼んでいただい。正直、ルールも全然わからなくて、ワールドカップの試合を必死で見て、なんとかコメントを用意して挑みました(笑)。

村上 僕らもオーディションで、正直“これは受からんやろ”と思ってました(笑)。ラグビー経験者や東大阪ゆかりの方も多くて、でもせっかくだから呼んでもらったから全力でやろうと。

中田 僕らが一番面白かったんですけどね！坪井 正直、新聞さんほど勉強してきた人はいなかったし、エイトマイルほど礼儀正しいイケメンもいなかった(笑)。番組としては、ラグビーに詳しい人だけじゃなくて、知らない人が好きになっていく過程も大事にしたかったので、皆さんの個性がハマったと思います。

禁句で空気をピリつかせた監督インタビュー

坪井 立ち上げ当初はとにかく大変でした。ルーティーンもなくて、コーナーも手探り。とにかく働いてましたね。でも“面白い番組を作る”という信念があったから、しんどさは感じなかったです。

新聞 試合もなかなか勝てなかった時期で、番組でのテンションが難しかったですね。明るくしたいけれど、負けてるのにどうか…という。そのラインを探りながらでした。

村上 僕らも初めてのテレビで、しかも当初は1人ずつの出演だったので、プレッシャーがありました。勝ち切れなかった試合の監督インタビューで、“楽しかったです”と言って空気がピリついたこともあって。

中田 村上が出演した回だけ負けてたので、疫病神ちゃうかって！

新聞 でも番組を重ねるごとに、自分自身もどんどんファンになっていきました。こんなふうに対象の結果や成長に合わせて自分の表現を変えていく仕事ってなかなかないので、魅力を感じます。

初回の放送はガチガチでした(苦笑)



メインパーソナリティー 坪井 章

真夏のロケでは汗だくで頑張りました！



MC 新開 祥子

選手の前での漫才はM-1より緊張しました！



潜入！HANAZONO担当 中田 成(エイトマイル)

お姫様抱っこ以来、クーバーさんのファンです！



潜入！HANAZONO担当 村上 知明(エイトマイル)



現場目線の発見が番組の大きな強み

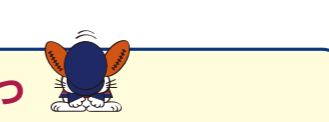
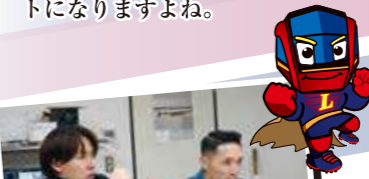
村上 ロケの思い出と言えば、練習体験で、いきなりクウェイド・クーバー選手(現コーチ)にお姫様抱っこされたのは衝撃でしたね。完全に不意打ちでした(笑)。

中田 僕は初めての食レポですね。意味わからんぐらい食べさせられて、飯頭を一口に入れて喋れなくなったのも良い思い出です。

村上 チームレフリーの回も面白かったです。知らない裏側が見れて。

坪井 そういう裏方の仕事は視聴者の反応も良かったですね。“初めて知った”という声が多くて。現場目線の発見が番組の強みです。

新聞 私はクレープのロケが印象的です。真夏で暑かったんですが、美味しくいただきました。あとクラフトコーラを初めて飲んだのも衝撃でした。これまでの人生でコーラを飲んだことがなかったので(笑)。



ごあいさつ

ケーブルガイド2022年10月号よりスタートした特集企画「KCNといっしょに応援！花園近鉄ライナーズ」は、今回をもちまして最終回を迎えることとなりました。これまでご覧いただき、誠にありがとうございました。なお、番組自体は今後も引き続き放送されますので、これからも花園近鉄ライナーズへの変わらぬご声援をよろしくお願いいたします。

“推し”を見つけることで愛が深まっていく

村上 皆さん推しの選手は誰ですか？僕はピーター・ウマガ=ジェンセン選手。見ていてワクワクするんですね。

中田 僕はマニー・リボック。やっぱり世界トップレベルの経歴を持つ選手は、それだけで見に行きたくなりますよね。実際プレーもすごいですし、顔も小さいし。

新聞 私は中川湧真選手ですね。守備でも攻撃でも全力で戻る姿が印象的。あとラタ・タンギマナ選手の早朝トレーニングといった努力する姿勢にも惹かれました。

坪井 私はミッチェル・ブラウン選手。目立たないけど体を張るプレーがすごい。

村上 野中翔平選手にはお世話になってます。クラブハウスに取材に行くと、よく“漫才やって”と言われるんですが、その時は大抵、野中選手をいじる(笑)。

中田 リーダー格の野中選手が笑うと、他の選手も一目置いてくれるんですね。

新聞 こんなふうには推しの選手を見つけるというのは、ラグビーを楽しむうえでポイントになりますよね。



「いてまえ！」でしかできないことを発信していく

村上 ライナーズは、大阪らしいユーモアがあって、すごく雰囲気の良いチーム。まさに“愛せるチーム”ですね。

中田 個々の選手の能力はかなり高いと思いますね。

村上 誰が言うてんねん！

新聞 試合の臨場感や選手との距離の近さも魅力ですね。花園ラグビー場付近を歩いたら選手に簡単に会えるんですよ。そこで推しを見つけてほしいですね。

坪井 視聴者の皆さんには、ライナーズの“最後まで諦めない姿”を見てほしいですね。心を動かされるプレーがあるチームです。番組としても、これからはさらに選手の素顔や裏側に迫る企画など、“ここでしか見られない内容”をどんどん発信していきたい。出演者も含めて、ワクワクできる番組を作り続けていきますので、ぜひ楽しみにしていただきたいです。

J SPORTS

ジャパンラグビーリーグワン2025-26

D1/D2入替戦第2戦 [45分ハイライト]

入替戦-1 6月1日(月)19:00~ J SPORTS 1

入替戦-2 6月1日(月)19:45~ J SPORTS 1

※対戦カードは未定です。

リポビタンDチャレンジカップ2026

JAPAN XV vs. マオリ・オールブラックス
6月27日(土)18:35~ J SPORTS 2

リポビタンDチャレンジカップ2026 直前番組

エディー・ジョーンズ×フィル・グリーンング
スペシャル対談

6月27日(土)18:15~ J SPORTS 2

ラグビー わんだほー！~ラグビー情報番組~

毎週月曜日22:00~ J SPORTS 1

※6月15日(月)、6月22日(月)の放送はありません。

